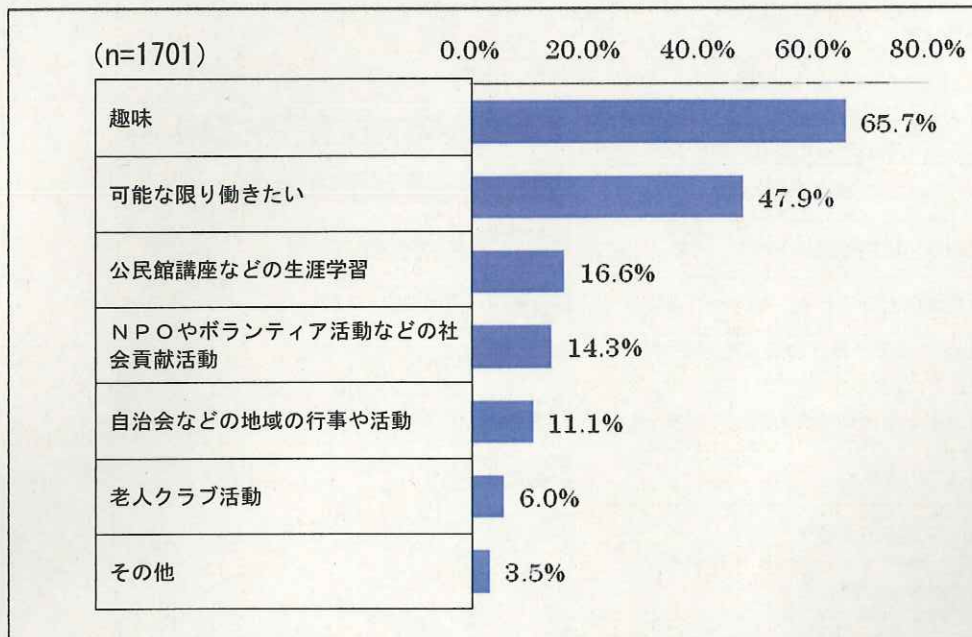


【人材の育成・活用について】

[問 13]

あなたが65歳以降の高齢期を迎えたときに行いたいことは何ですか。
2つまで○印をつけてください。
(65歳以上の方は、現在行いたいことに○印をつけてください。)



【分析結果】

[全体]

・「趣味」(65.7%)が最も多く、次いで「可能な限り働きたい」(47.9%)となった。

[地域別]

・「趣味」は、離島地域(58.8%)で他の地域に比べ少ない。

[性別]

・「可能な限り働きたい」は、女性(42.9%)に比べて男性(54.9%)が多い。

・「公民館講座などの生涯学習」は、男性(11.4%)に比べて女性(20.8%)が多い。

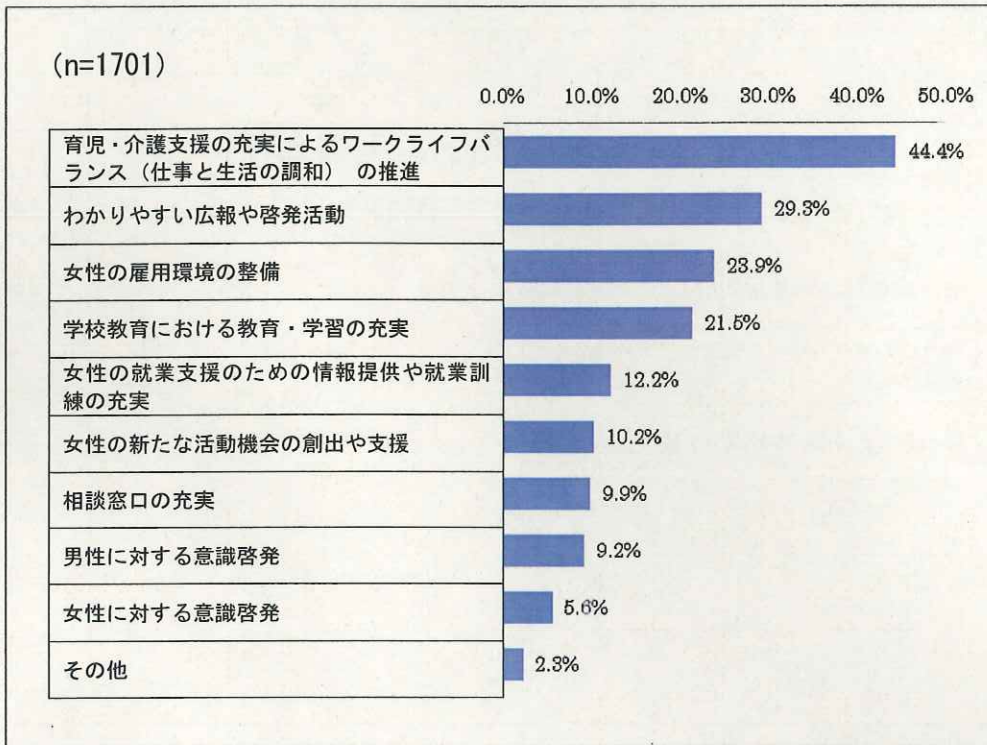
[年代別]

・「可能な限り働きたい」は、40歳代(56.1%)、50歳代(57.2%)で多い。

[問 14]

性別にかかわらず、個人の個性と能力を發揮することができる「男女共同参画社会」を実現するためには、どのような取組が必要だと思いますか。

2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

- ・「育児・介護支援の充実によるワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進」（44.4%）が最も多く、突出している。次いで、「わかりやすい広報や啓発活動」（29.3%）、「女性の雇用環境の整備」（23.9%）となった。

【地域別】

- ・「女性の雇用環境の整備」は、県央地域（29.1%）がやや多い。

【性別】

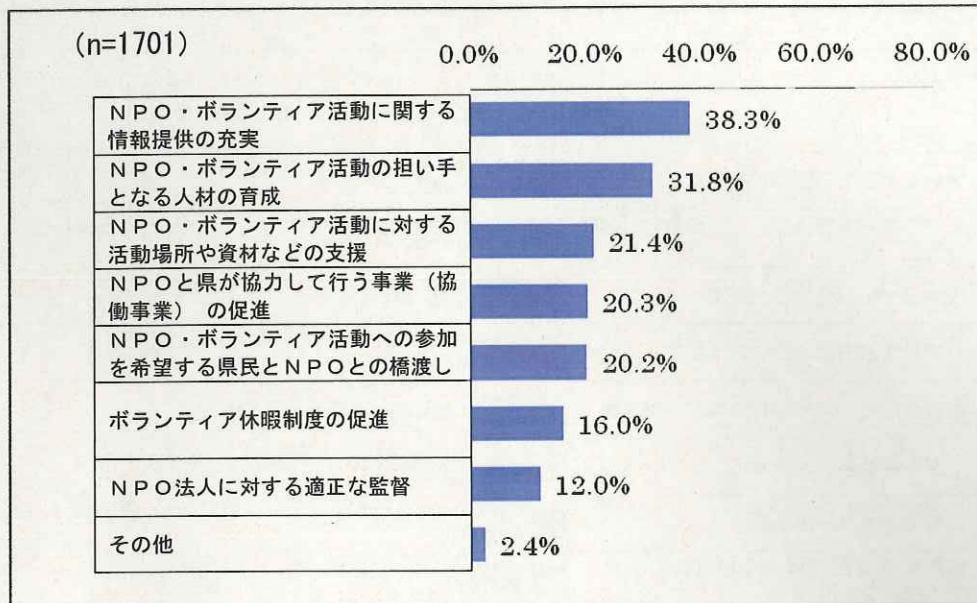
- ・「女性の就業支援のための情報提供や就業訓練の充実」（男性：8.2%、女性：15.6%）、「女性の雇用環境の整備」（男性：20.6%、女性：26.5%）で、女性が男性に比べ多くなった。

【年代別】

- ・「育児・介護支援の充実によるワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進」は、20歳代（54.3%）30歳代（57.5%）が多い。
- ・「わかりやすい広報や啓発活動」は、年代が高くなるとともに増加傾向となった。
- ・「女性の雇用環境の整備」、「育児・介護支援の充実によるワークライフバランス（仕事と生活の調和）の推進」は年代が高くなるとともに減少傾向となっている。

[問 15]

あなたは、今後、NPO・ボランティア活動が一層活発になるためには、どのような取組に力を入れていくべきだと思いますか。2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

[全体]

- ・「NPO・ボランティア活動に関する情報提供の充実」（38.3%）が最も多く、次いで、「NPO・ボランティア活動の担い手となる人材の育成」（31.8%）となった。

[地域別]

- ・「NPO・ボランティア活動の担い手となる人材の育成」は、島原半島地域（34.6%）、離島地域（35.3%）が多い。

[性別]

- ・「NPO・ボランティア活動に対する活動場所や資材などの支援」は、女性（18.7%）に比べて男性（25.0%）が多い。

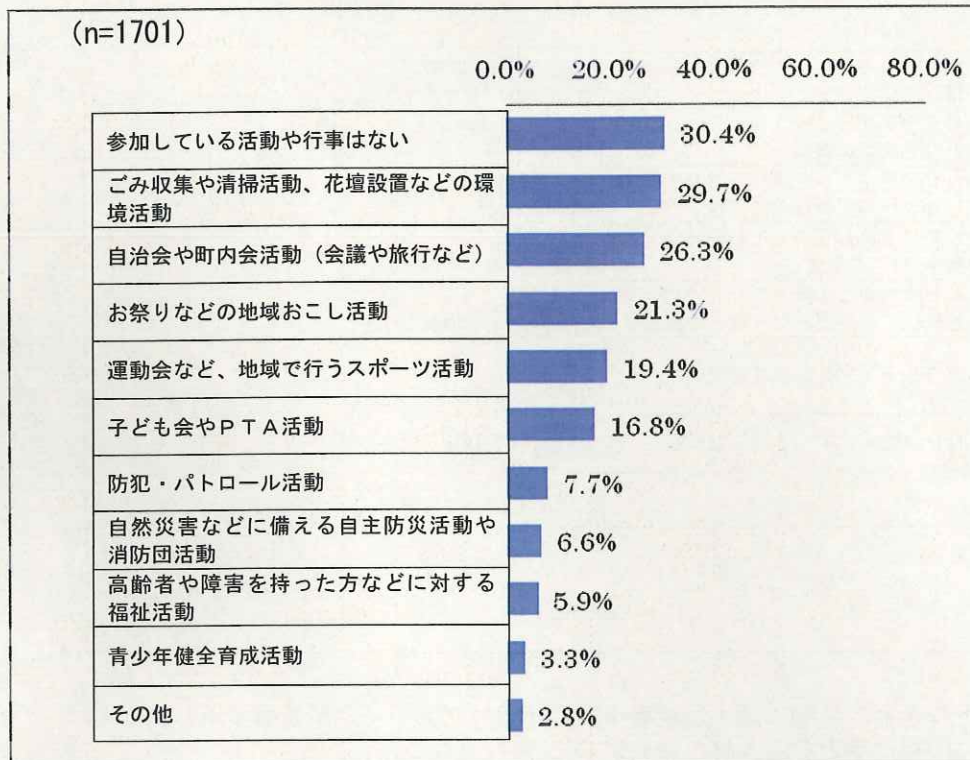
[年代別]

- ・「NPO・ボランティア活動の担い手となる人材の育成」は、年代が高くなるとともに、増加傾向である。

【地域コミュニティの活性化について】

[問 16]

地域コミュニティ活動への参加状況についてお聞きします。あなたは、お住まいの地域でどのような活動や行事に参加していますか。該当するものすべてに○印をつけてください。



【分析結果】

【全体】

- ・「参加している活動や行事はない」（30.4%）が最も多い。
- ・参加している活動は、「ごみ収集や清掃活動、花壇設置などの環境活動」（29.7%）が最も多く、次いで「自治会や町内会活動（会議や旅行など）」（26.3%）となった。

【地域別】

- ・「参加している活動や行事はない」は、県南地域（37.2%）が最多。
- ・「ごみ収集や清掃活動、花壇設置などの環境活動」は、県南地域（23.1%）、島原半島地域（24.0%）が少ない。
- ・「自治会や町内会活動（会議や旅行など）」は、県南地域（21.0%）、離島地域（24.2%）が少ない。
- ・「お祭りなどの地域おこし活動」は、島原半島地域（33.5%）が他の地域に比べて非常に多い。

【性別】

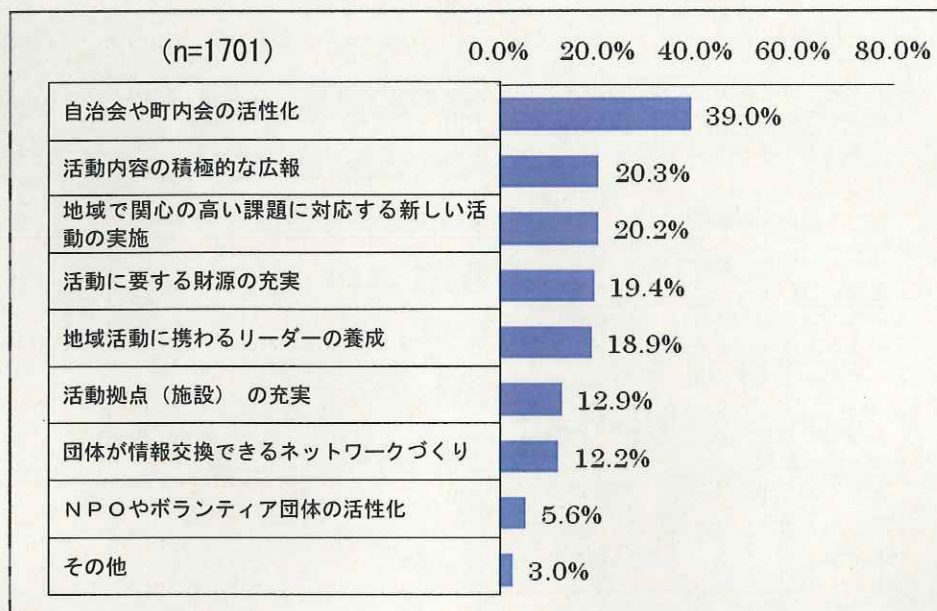
- ・「子ども会やPTA活動」は、男性（13.9%）に比べて女性（19.3%）が多い。
- ・「自然災害などに備える自主防災活動や消防団活動」は、女性（4.4%）に比べて男性（9.5%）が多い。

【年代別】

- ・「参加している活動や行事がない」は、20歳代（54.9%）が最も多く、突出している。

[問 17]

あなたの地域のコミュニティ活動が、さらに活性化するためにはどのようなことが必要だと思いますか。2つまで○印をつけてください。



【分析結果】

[全体]

- ・「自治会や町内会の活性化」(39.0%)が最も多く、突出している。次いで、「活動内容の積極的な広報」(20.3%)、「地域で関心の高い課題に対応する新しい活動の実施」(20.2%)となった。

[地域別]

- ・「自治会や町内会の活性化」は、島原半島地域(44.7%)が他の地域よりやや多い。
- ・「地域活動に携わるリーダーの養成」は、離島地域(26.1%)が他の地域より多い。

[性別]

- ・「活動に要する財源の充実」は、男性(22.4%)の割合が女性(17.2%)よりも多い。

[年代別]

- ・「地域活動に携わるリーダーの養成」は、年代が高くなるとともに、増加傾向となった。
- ・「活動内容の積極的な広報」は、20歳代(26.8%)、30歳代(27.1%)が多い。
- ・「団体が情報交換できるネットワークづくり」は20歳代(20.7%)が多い。